

あきらめない! 区民のために

4人の子育て経験を生かし

子育て安心一番の新宿を実現

日本共産党

かわむら

新宿区議会議員

文教子ども家庭委員会副委員長

川村のりあき

お気軽にご相談ください

電話 070-6510-8893 FAX 03-3950-8893

メール kawamura.noriaki71@gmail.com

定例
法律
相談

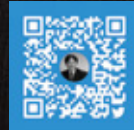
毎月 第2水曜18時～
毎週 火曜17時～

中井事務所
(中井1-13-3)
新宿区役所5階

LINE



ツイッター



HP



明るい新宿

2023年春号外

発行●明るい新宿社 新宿区北新宿1-30-26

篠崎修之

日本共産党・川村のりあき区議の活動を紹介します。

落合のみなさんとともに

川村のりあき

プロフィール

1971年岩手県花巻市生まれ。新聞奨学生として上京、働きながら早稲田大学第2文学部卒業。99年区議選は29票差の次点で惜敗。03年から区議5期。党区議団幹事長。家族は、妻、3女1男。ぽっぽのいえほいくえん相談役。新宿消防団員25年。宮沢賢治とサッカーが好き。

活動地域

上落合3丁目、
中井1～2丁目、
中落合4丁目、
西落合1～4丁目

妙正寺川沿いに哲学堂から続く桜並木を提案し実現しました。お花見の時期にはライトアップされます。



山手通りの地下高速道路(中央環状新宿線)開通の際には、住民のみなさんと「落合の環境を守れ」と運動を展開。国内初となる排気を浄化する脱硝装置を付けさせました。



大江戸線と西武線の中井駅間に点字ブロックの設置を実現。

妙正寺川の水害対策に取り組んできました。19年には区議会ですのうステーションの整備を提案し、実現。



妙正寺川洪水、阪神大震災、東日本大震災、台風19号で救援活動。



共産党区議団のアンケートは毎回2000通以上。一つひとつ読んで、要求実現に取り組んでいます。

軍事費2倍化ストップ! 憲法いかし平和外交を。ウクライナに平和を!

新宿区は統一協会関係団体の「後援」取り消せ。自民党は癒着を断ち切れ

若者向け家賃助成復活

新宿区の家賃は、若者には高額です。新宿区にはかつて若者向け家賃助成（2万円/月）があり、私も受給して新宿に定住することができました。現在は区議会議員として新宿区に恩返ししています。

19年に募集停止された若者向け家賃助成（学生・勤労単身者向け家賃助成）を復活します。

奨学金返還支援

奨学金の借入額の平均は300万円を超え、「借金漬け」の日々から脱せず、結婚や子育てに影を落とすケースが少なくありません。

私自身も新聞奨学生として上京し、40代まで奨学金を返済した経験者です。この間何度も議会で提案している「給付型奨学金」、八王子市ですで行われている50万円の「奨学金返還支援」を実現します。



若者応援

羽田新飛行ルート撤回

南風時、15時になると都心上空を大型航空機が低空飛行する「羽田新飛行ルート」。激しい騒音、落下物の不安など、平穏な住環境が脅かされています。

「国に対し羽田新飛行ルートは早急に運用停止するよう意見書を提出することを求める陳情」は、128名の署名のうち103名が町会長で、区内200町会の過半数の会長から署名が寄せられました。危険な都心低空飛行をやめさせるまで、あきらめず取り組みます。



撤回求めるパレードに参加
(2020年)

哲学堂の経験生かし 神宮外苑の緑を守る

哲学堂の樹木伐採計画を、新宿区議会議員としてただ一人議会で取り上げ、住民の皆さんの世論と運動とともに、計画を撤回させました。

神宮外苑の樹木伐採に関わる権限は、新宿区にあります。哲学堂の緑を守った経験を生かし、都心の貴重な緑を守ります。



神宮外苑のイチョウ並木

環境

ヤングケアラー支援

ヤングケアラーとは、障害や病気のある家族の介護やお世話をしている、18歳未満のお子さんです。中学生の約5.7%、高校生の約4.1%も存在し、新宿区内にも相当数いらっしゃいます。子どもが子どもらしくいられるよう、家族まるごと支援を行います。



子ども・子育て応援

ワンオペ育児ゼロ

2年連続で、待機児童ゼロ（国定義）を達成できたのは、認可保育園増設に取り組んだ成果です。

さらに子育て安心一番の新宿を目指します。①年度末まで待機児童が発生しない余裕ある入園体制、区独自の保育士増員、②育休中や専業主婦（夫）でも安全にいつでも保育園に一時保育できる仕組みをつくります。

高齢者

補聴器をもっと身近に
誰でも

補聴器の普及を区議会でも最も取り上げているのが、川村のりあきです。高齢化社会が進展する中、65歳以上で約45%、80歳以上で約80%が難聴者とされ、聞こえのバリアフリーへの取り組みは急務です。

① 高齢者総合相談センターや地域センター、地域交流館等で身近に聴力検査をして専門医につなげ、必要な方には補聴器の装用ができるようにする。② 補聴器購入に対して助成制度の創設。

誰もが安心して住み続けられる落合・新宿へ

次の4年間、実現へ全力！

川村のりあき



初めて立候補してから24年、区議会に送り出していただいていたから5期20年。私は、「区民のためなら、あきらめない」を信条に、区議会議員の活動をしてきました。

岩手の山村で生まれ育った私は、緑あふれる落合が大好きです。赤ちゃんも、子どもも、若者も、働き盛りも、高齢者も、障害者も、家族でも一人でも、誰もが安心して住み続けられる落合そして新宿区の実現へ、引き続き区政で働かせてください。

この4年、日本共産党新宿区議団の幹事長として、他の会派に働きかけ、議会を動かし、みなさんの願いを実現してきました。

2023年4月

高校3年生までの医療費無料化

前回区議選で公約。党区議団幹事長、文教子ども家庭委員会副委員長として、実現をめざしがんばってきました。日本共産党区議団は条例提案2回、予算修正案も1回提案。自民・公明などの反対でなかなか実現しませんでした。いよいよ4月に実現です。

精神障害者に福祉手当

公約に掲げ、19年の区議会で区長に実現を迫りました。さらに幹事長として各会派によびかけ、5会派14人が共同で早期実施を区長に申し入れました。20年度から精神障害者1級の方への支給が実現しました。2級以下の方にも支給されるよう、引き続きがんばります。

私は精神障害者で3級の手帳を持っています。障害年金はもらっていないため、さらに福祉手当の充実を望んでいます。

西落合在住 Nさん

相次ぎ点字ブロック設置



視覚障害者の方の声を受け、大江戸線と西武線の中井駅間に点字ブロックの設置を実現しました。その後、前回区議選の際、「山手通りの落合駅と中井駅の間にも点字ブロックを設置してほしい」と切実な要望を受けました。現地調査し（写真）、東京都第三建設事務所に要請。20年1月に実現しました。

5期20年 みなさんの声を大きな力に

中井駅南北自由通路・バリアフリー実現



2016年ついに実現！住民のみなさんと一緒に

区議選に初挑戦した24年前、障害児のお母さんの切々とした訴えを聞いて、「なんとしても」と決意。04年に住民のみなさんと集めた署名1240筆を西武鉄道と区に提出。05年に西武鉄道本社と交渉するなど、ねばり強く取り組みました。09年度に新宿区が予算を付け、ついに16年に南北自由通路が開通し、北口を開設、エレベーターとエスカレーターが設置されました。

次は、地下鉄落合駅と西武線中井駅、下落合駅の一日も早いホームドア設置に取り組みます。

図書館を守った！

01年、新宿区は、区立図書館9館を4館に削減する計画を打ち出しました。反対の住民運動がまき起り、6千名をこえる署名が集まりました。私も西落合図書館を守るため、学習懇談会、宣伝、署名とがんばりました。02年の区長選挙の争点となり、区はついに削減計画を撤回しました。その後、下落合にあった中央図書館の移転に伴い、「地域の図書館を守れ」と区議会で質問。下落合図書館の新設が実現できました。



みんなの力で守った西落合図書館

哲学堂公園の開発ストップ

17年に中野区が突然発表した哲学堂の大開発計画。樹木を大量伐採し環境破壊するだけでなく、児童遊園を4分の1に縮小する計画に、区民・利用者が立ち上がりました。区議会でも、新宿区から中野区に見直しを働きかけるよう求めるとともに、都と文科省から聞き取りして、道理のなさを明らかにしました。1年後、中野区は、この計画を見直すことを決めました。



18年12月着工予定がストップ。工事のお知らせ看板も撤去されました

保護者のみなさんの悩みを聞き、区議1期目から区議会できり返し質問し、20年近く取り組んでいます。最初に、区内に1カ所だった通級学級を落合第一小など5カ所まで増やしました。16年に全小学校で始まった「まなびの教室」について、保護者の心配な点を区議会に取り上げ、改善してきました。また、私立認可保育園、認証保育所、私立幼稚園も含め、早期に対応できる専門家の派遣を提案し、実現しました。近年は、「小中学校の特別支援教育推進員を増やしてほしい」という声を区議会に取り上げ、34人（17年度末）から77人（23年度末）に増やすことができました。

ひき続き、●保育園、子ども園、幼稚園等の全児童を対象に保護者の心情に十分配慮のうえ、医師や心理士の観察と助言により、受診や療育につながる仕組みづくり、●小中学校の特別支援教育推進員的大幅増員、●就職期や大人の発達障害者の支援を抜本的に充実し、乳幼児期から高齢期まで切れ目のない、家族まるごと支援する発達障害者の支援一番の新宿区をめざします。

区議会で取り上げていただき、心強い

子どもに発達障害があり、進学する小学校でどんな支援が受けられるか、相談させていただいたところ、校長先生をご紹介いただき安心して進学できました。ただ、支援の必要なお子さんも多く、特別支援教育推進員の方が足りない実情をお伝えしてきました。先日も区議会でも取り上げていただき心強く思っています。

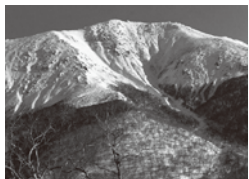
落合地区 Eさん



川村のりあき物語



岩手県の山村に生まれる



早池峰山の麓で
生まれました

私は、岩手県の山村（宮沢賢治で知られる花巻市）でぶどうと米をつくる兼業農家に生まれました。農業だけでは食べていくことができないため、祖父は富山に出稼ぎに、父も冬は早朝から重機で除雪作業に従事し、叔父はブラジルに移民しました。牛への餌やりは私の仕事でした。友人はバスで通学するところ、歩いて1時間かけ小学校に通学し、田んぼでとった「イナゴ」を売って、お小遣いにしたこともあります。私は母に「勉強したことは誰にもとつていかれないから、勉強はしなさい」と教えられ、下宿して盛岡の高校に進学。小学校では児童会長を2年間、中学校では生徒会長を務め、高校では応援団長として甲子園に行きました。小中学校はサッカー、高校は空手と柔道に打ち込みました。

コメの輸入自由化に怒り、日本共産党に入党

高校時代、下宿した先で信頼できる友人と出会いました。その友人にすすめられ、日本共産党の新聞「赤旗」を購読。学習会に参加し、自民党政府がアメリカのためにコメの輸入自由化をすすめるようとしていることを知り、「なんだこの政治は！ 農業つぶしの政治を変えなければ」と日本共産党に入党しました。

働いて学費をつくり、早稲田大学を卒業

自力での進学を決意し、早稲田大学第二文学部に入學。新聞奨学生として、三畳一間の住み込み生活からスタートしました。その後、昼は大学の職員として働き、夜は授業という生活を送りました。

難病のため、21歳で亡くなった妹

妹は、難病を患い療護施設に入所。家族が妹を支えるために一つになつていました。妹は21才で他界しましたが、「弱い立場の人の力になりたい」との思いは特別のものがありません。

29票差で落選。地域のみなさんに支えられ初当選



落選後も地域要望実現の活動を続けた（99年、中井駅前）

大学卒業後、日本共産党新宿地区委員会の職員に。「しんぶん赤旗」を配達・集金する仕事、区議団事務局長、大山とも子都議事務所長をつとめました。99年、区議選に立候補しましたが、29票差で次点。この時、自分のことのように励ましてくれた地域のみなさんの温かさは、今でも忘れることができません。

4児の父。

子どもたちの名前は憲法から

3女1男の父親です。子どもたちは、「和（なごみ）」「平（ひらり）」「希（のぞみ）」「求（きゅう）」と、憲法前文にも謳われる思い入れのある名前です。地域の子育ての取り組みにも、積極的に参加しています。

区民のためなら あきらめない川村さん

いつでも、どんなことでも気軽に耳を傾けてくれる川村のりあきさん。弱者にとってますます生きにくくなる世の中を、あきらめずに変えようと奮闘する川村さんは、私たちにとって大切な存在です。身近な区政を私たちのものにしていくために、さらにがんばってほしいです。

西落合 渡辺さ江さん